

16年度 学校経営報告書

学校番号	42	学校名	静岡東高等学校	校長名	須藤 壽忠
------	----	-----	---------	-----	-------

1 今年度の取り組みと評価

(1) 重点目標への取組と評価

教職員が重点目標に沿って意識を持って指導し、生徒も様々な活動に大変真面目に取り組んできた結果、重点目標は概ね達成できたと思われる。(15年 16年)

生徒指導

- ・生徒の交通マナー遵守の意識を向上を図り、交通事故を減らす。13件 14件
- ・時差登校時間を厳守し、年間延べ遅刻者数を減少させる。3800人 2200人
- ・日常生活のリズムを安定させ、欠席者数を減少させる。3400人 2900人

進学・学習指導

- ・国公立4年生大学合格者数を3年生の3分の1以上にする。117人 143人
- ・より一層の進学指導体制充実のため、教員を先進校へ派遣する。10名 10名
- ・図書館の貸し出し数を増加させる。3000冊 3100冊
- ・部活動加入率100%を堅持する。100% 100%
- ・ベルがなると同時に授業を始める。15, 16年度ともできている。
- ・各教科・科目のシラバスを3年生まで作成できたので教科会議で利用し、改善していくところは改善していく。

(2) 教育活動への取組と評価

生徒指導・しつけ指導の徹底……服装・頭髪指導では女子のスカートの丈が短く更に指導をする必要があるが、頭髪はほとんど問題がないほどしっかりしてきている。非行面では年3件の指導があったが生徒は落ち着いた生活をしている。しかし、「自覚と責任はまだまだ不十分であり、油断のないよう、予防的生徒指導を続けていくことが大切である。

進路・学習指導の充実……3年生の進路では例年以上の多くの生徒の進路目標達成を果たせた。教員と生徒の頑張りがあったからである。しかし、「週末課題」等で一部の生徒からは前向きな取り組みが見られなかったり、「土曜補講」、「夏季勉強会」等への参加者が少なく、事業の意義をさらに明確に伝える必要がある。

特別活動の充実……弓道部、水泳部、ハンドボール部、百人一首部、マンドリン部を筆頭に多くの部活動が全国大会や県大会の上位に進出している。学習と部活動の高いレベルでの両立を果たすことができた。

読書指導の充実……1年生の朝読書は、生徒一人年間10冊を読みこなす目標であるが、10%しか達成していない。本の厚さや内容にもよるが、3年の小論文を書くときにあわてることのないよう、準備させたい。

広報活動の充実……中学校の生徒、教員、保護者に本校を理解してもらうため、本年もHPの更新や広報新聞を配布、PRを続ける。保護者への学校の近況報告が十分ではないので方法を考慮する。

2 次年度以降の課題と対応策

本校の課題である学習と部活動の両立のあり方には教職員の中にも温度差があり、生徒自身も厳しい自己評価をつけている等、様々な場面で食い違いが見られるのでそれぞれの立場で意見を出し合って議論する必要があり、その機会を設ける。授業評価においても、まだ十分な成果が得られていないので、学力向上委員会を継続して、東高としての授業のあり方を研究する。生徒指導の継続的指導においては、進路指導、健康指導もかねた面接カードを作成し、それを基に担任、副担任の面接による総合的個別指導を行う。(年4回)長期欠席者の対応のために外部の協力をお願いしたり、校内の協力システムを作り教育相談を充実させる。情報セキュリティを図るため情報システムを作り充実を図る。そのために、情報管理室と教育相談室を独立して設ける。その他の今年度の重点目標は、継続して実践していく。